



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ



中国銀行

NEWS RELEASE

令和6年8月28日

株式会社 中国銀行

鏡野町との企業版ふるさと納税の推進に関する契約の締結について

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）は、鏡野町（岡山県 苫田郡鏡野町竹田660 町長 山崎 親男）が取組む企業版ふるさと納税の推進に関する契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 目的

鏡野町の企業版ふるさと納税対象事業に関する情報を、寄附を検討している当行のお取引先さまに提供し、本制度の活用を促進し、官民連携事業の創出を通じた地方創生の実現を目的としています。

2. 取組み開始日

2024年8月28日（水）

3. 鏡野町長からのメッセージ



山崎 親男町長

県北に位置する鏡野町は人口の減少や農林業の担い手不足など様々な分野での課題解決のために、このたび中国銀行様と官民連携で新たな事業を始めることとなりました。

町の未来を担う子どもたちが『住み続けたい』と思えるまちとなるよう目指して参ります。

現在行っているユニークな事業として、おむつ・チャイルドシートの購入補助や町産材を使用した木育（木のおもちゃの配布・学校の机作り）など、「こどもまんか」を実践しています。

町が取り組む地方創生事業にご賛同いただき、地域課題解決に向けて共に考えていただけるパートナーの皆様からのご支援をお待ちしています。

【企業版ふるさと納税について】

2016年度に創設された企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附をおこなった場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

企業版ふるさと納税を活用することにより、地方公共団体にとって、地方創生プロジェクトへの資金調達ができ、寄附企業にとっては地方創生プロジェクトに寄附することで地域貢献が可能になるとともに、地方公共団体とのパートナーシップ構築のきっかけとなり地域資源を活かした新事業の展開に繋がる可能性があります。

【該当するSDGs目標】



以 上